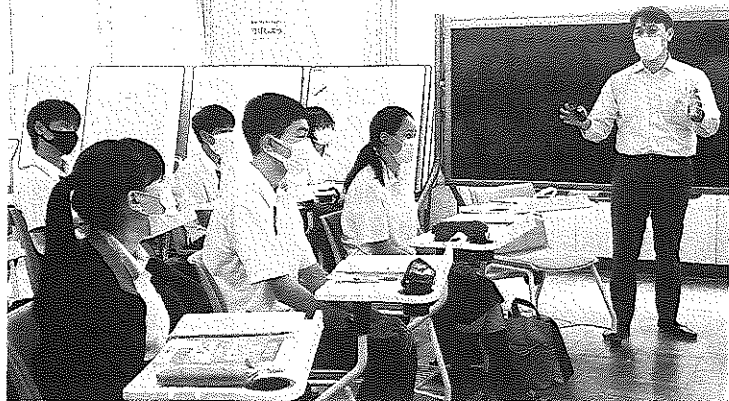


村田さん(右)から医学部受験の心構えを学ぶ生徒ら＝岐阜市野一色の岐阜東高で



医療系志望の生徒にエール

医療系の進路を希望する生徒が勉強方法などを学ぶ「スパー医療人育成講座」が、岐阜東高校(岐阜市野一色)で今月から始まった。一、二年生約五十人が参加し、医療現場で将来働く意識を高めている。

新型コロナウイルスの影響で医療の重要性が改めて広く知られる中、医療従事者を目指す意欲ある生徒を応援しようとして、学校が初めて企画した。企業や大学から外部講師を招いての講演会や、教員による医療用語の解説などの講座を、放課後に定期的に開く。

十二日は二回目の講座があ

岐阜東高で講座始まる

り、予備校「富士学院」(福岡市)の村田慎一さん(五)が、医学部進学を希望する生徒十一人の前で講演した。

村田さんは医学部受験の特色の一つとして面接試験を挙げ、その理由を「医師になるための試験であり、就職試験の意味合いも含む」と説明。

「皆さんの受験の先に、数十万人の患者さんがいる。医師になる覚悟を決めて、受験を通して成長して」などとエールを送った。

二年の河村大翔さん(二)は「周りの人への感謝を忘れないなど、受験に向かう心構えを聞いたのが貴重だった。一人一人と向き合える医師になりたい」と決意を新たにしていた。

(形田怜央菜)